

新年度予算にみる 勝山市の動きを チェック!



平成24年度の予算について、市議会ではどんな審議がされているのか。特徴的な内容を「特集」しました。

予算委員会の審議より

特集1 勝山型農業と農業公社のあり方について

中山間地域が多く、大規模な農地を確保できない勝山市において、今後、農地を維持管理していくことには困難が伴います。そしてその問題解決には農業公社の果たす役割が大きくなり、有能な人材確保も必要であるとの意見が多数出されました。その中で、農業公社に委託する循環型農業推進事業では、24年度は緊急雇用を活用する予定であることに對して議会では、単年度でしか採用できない緊急雇用で、勝山の農業の将来を見据えた対応ができるのか、などという意見が出されました。さらに、農業公社の今後の運営では、有能な人材の確保と育成及び事業の充実をどのように進めるべきか議論がありました。市では今後、緊急雇用が足かせにならないよう、人材確保に努め、農業公社ともしっかり協議して事業を進めていくとのことでした。また、議会からは、農業公社を含め、他の施設等の人件費の削減に努めることも指摘がなされ、適切な人件費を精査し、より強く求めます。充てるよう強く求めました。

特集2 温泉センター修繕計画とマイワークかつやま存続問題について

温泉センター水芭蕉は、市内の温泉施設として、皆様に親しまれています。また、指定管理者制度も導入しており、民間のノウハウも導入されている施設です。しかし、近年は施設の劣化が目立ち、これまでも修繕に多額の費用がかかっています。今議会において、今後4年間の修繕計画が示され、その予算が1億円規模になることが明らかになりました。議会としては、この5年間で1億円近い修繕費が投入されたこともあり、その内容を精査すべきであるとの意見が出され、詳細な資料の提出を求め検討を行うことになりました。ただし、資料の量が多いために今後常任委員会での検討事項となりました。今後、これまでの維持管理方法や状態、今後の修繕内容について検討を行い、無駄のない予算執行に向け協議を行う予定です。また、マイワークかつやまは、ハローワーク勝山の廃止に伴い、奥越地域地方産業振興センター内に平成20年に設置された地域職業相談室です。就職件数は、景気の動向によりですが、平成21年度は415件、23年度は2月末で245件と、多くの方が活用されており、この地域職業相談室は、設置後5年を経過した時点で利用状況を踏まえ、廃止・業務縮小等の見直しを行うこととなっており、設置5年目のマイワークかつやまについても、今後検討されていくとの報告がありました。厳しい経済状況が続く中、最新の就職情報が身近に得られるマイワークかつやまは重要な施設であるため、今後存続に向けて努力してまいります。

特集3 高校再編に伴う交通費補助について

平成24年度は、勝山南高校最後の年度となります。これに伴い、新たに多くの生徒が市外の高校へ進学する事になります。昨年勝山南高校の募集が停止されましたが、議会ではそれ以前から、奥越明成高校への通学手段の確保と支援が必要だと訴えてきました。そして23年度、福井県の支援もあり、広域バス路線である勝山大野線には、朝に一番が増便され、午後は帰宅しやすいように、バスダイヤの変更が行われました。しかし、通学費補助については、福井方面へ通学する生徒とのバランスを考えると困難であるとの姿勢でした。議会としては、本来勝山南高校への進学を希望した生徒の多くが、募集停止に伴い奥越明成高校へ進学せざるを得ず、保護者への負担となっている可能性が、えちぜん鉄道の通学定期には補助があることを指摘し、広域バス路線である勝山大野線にも支援の必要性があることを訴えました。その結果、勝山市としても今後向きに検討するとの回答がありました。また、広域バス路線の運賃が、市内バス路線と比較して高い事については、従来より許認可権を持つ福井県や、隣接する大野市との間で、統一運賃制の導入の協議を行っており、勝山市で検討されている新交通システムの状況を見極めていく状況です。議会としても、今後も利便性が高く、市民の皆様の費用負担が小さい交通手段を目指して検討を積み重ねて参ります。